

うみぼす甲子園 2023 開催概要

※詳細情報は更新・変更があり次第、随時公表します。

《第2回大会方針とアウトライン》

「うみぼす甲子園」は全国の高校生を対象として開催します。単なるポスターコンテストを超え、海の課題に取り組む高校生たちが横断的に学び、発想し、発信するコンテストとして生まれました。2022年の第1回大会も、ポスターを作って終了ではなく、海の未来に主体的に関わるきっかけとなるような「芽吹き」がありました。2023年第2回大会では、この発展性や周囲・社会との連携についても、さらなる進展を目指します。

「うみぼす甲子園 2023」への応募は、それぞれのチームで海の課題（テーマ）を決めてもらいます。これを、見る人に伝わるポスター（あるいはその他の制作物）として表現してもらいます。また、エントリーシートで、チームの狙いや活動への思いをしっかりと綴ってください。これが予選となります。

締切後、応募内容を総合的に審査し、14チームを選出します。決勝プレゼン大会に出るファイナリスト14チームです。このすべてのチームに、事務局より活動資金10万円を提供します（第1回大会では優勝チームのみでした）。また事務局からのアドバイスやサポートのもと、それぞれが計画した活動を具体化してもらい、決勝プレゼン大会に臨みます。

決勝大会はファイナリスト14チームが集結し、制作物、活動実績、そこに込めた思いなどを5分間プレゼンテーションしてもらいます。総合評価によりグランプリを決定します。

一連の取り組みを通じて、チーム内だけでなく学校・地域・企業や自治体など、周囲の人々とも協力しあうことを体験してもらうとともに、関連する人々全員で、高校生から生まれた芽を大事に育て、その継承と持続可能な開催を目指していきます。

《大会コンセプト》

あなたが、次の誰かを動かす。

『2人め』を生み出せる『1人め』になろう。

社会の課題解決には、最初に勇気を持って行動を起こす「1人め」の存在が必要です。しかし1人のチカラには限界があります。その活動を広げ・続けるには「1人め」に続く「2人め」を生み出すことが不可欠です。

うみぼす甲子園は、海の豊かさを未来につなげるために、課題に立ち向かう「1人め」としての行動と発信、そして周りの人々を巻き込んで「2人め」を生み出していくような発想や活動を競うコンテストです。

大会参加を通して「自身が学び、行動すること」に加え、「発信力、訴求力、伝達力」を身につけてもらいたいと考えています。

また、うみぼす甲子園は、結節点として人々をつなぎ、多様な分野の人々が関わる活動の中心となり、活動を継続させる、そんな展開を生み出すことを目的としています。

海の希望と 自分の成長を作るコンテスト「うみぼす甲子園2023」

《スケジュール》

予選応募期間：2023年5月10日（水）～6月18日（日）（23時59分締切）

応募提出物：1. エントリーシート（公式サイトのお応募フォームへの記入送信）

※テーマ設定の理由、実施する活動内容など→後述

2. ポスター原稿データ（仕上がり時 B2 サイズ想定/縦、横問わず）

※応募時は完成形でなくても OK（jpeg、png など画像データで応募）

※応募時は B2 サイズでなくても OK

※連作・複合策予定の場合も、予選時は1作品で応募

ファイナリスト（14 チーム）発表：2023年6月30日（金）

ファイナリスト活動期間：2023年7月1日（土）～10月31日（火）

決勝プレゼン大会：2023年11月4日（土）・5日（日）（開催地：東京都内）

※4日：リハーサル&交流会 5日：決勝プレゼン大会本番

※会場は6月中旬に決定予定

《表彰と特典》

- ファイナリスト 14 チーム（予選通過）：活動資金 10 万円とサポートを提供します。
- 決勝プレゼン大会参加にあたり、1 チーム最大 15 万円までの旅費をサポートします。

- グランプリ：決勝プレゼン大会で選出。追加活動資金 10 万円とサポートを提供します。
※その他、デザイン賞、プレゼンテーション賞、審査員賞など各賞の表彰を予定。
- グランプリチームをはじめ活発に活動するチームは、追跡取材を行い、冊子やネットでの発信を行う予定です。

うみぼす甲子園って何？

うみぼす甲子園は、海の課題解決を高校生が競うコンテストです。研究発表などの理数系コンテストや起業系コンテストとは異なり、総合力を競います。

具体的には、ポスターをつくり、それを活用して周囲を巻きこむ活動をして、広報活動（活動参加呼びかけ・活動報告など）を行い、その一連の成果やビジョンをプレゼンテーション。総合得点でグランプリを決めるコンテストです。

企業や自治体など社会が注目するコンテストに、みなさんとともに成長させていきます。以下、やることを個々に説明していきます。

チームを作ろう！

うみぼす甲子園を勝ち抜くには、チカラを合わせての共同作業だけでなく、いろんな才能や個性が必要な場面があります。ビジュアルづくり、コピーづくり、広報の作戦づくりや活動の具体化、そしてプレゼンテーションなどなど。ぜひ、それぞれの「得意」を発揮するチームを作ってください。

《参加資格》

1. 2023年4月現在、現役高校生であること。
※定時制や通信高校の生徒、高等専門学校の学生も対象となります。
2. 1人以上のチームで参加すること。
※クラスや学年、クラブの仲間などの他、他の高校との混合チームでも参加できます。
※決勝当日に会場に入れる人数は1チーム最大5人とします。（引率者は別途）
多人数の場合はチームを分けてご応募されることを検討ください。
3. ファイナリスト選出後、活動期間に活動できること。
4. 決勝プレゼン大会に参加できること。（開催地：東京都内）
2023年11月4日（土）：リハーサル&交流会
5日（日）：決勝プレゼン大会本番
※会場は6月中旬に決定予定です。
※決勝プレゼン大会参加にあたり、1チーム最大15万円までの旅費・宿泊費をサポートします（会場で精算）。

海の課題を見つけよう！

ポスターや活動の核となるのは、チームで決めたテーマ（海の課題）です。これを機会に、日本の海、地元の海はどんな課題を抱えているのか、できることはないか、と調べてみてください。そして、他の競合チームとは違うユニークなテーマにするか、あるいはテーマはスタンダードでも、アイデアや総合力でパワーを発揮するか、など、作戦的にも考えてみてください（後述の審査基準も参考にしてください）。

《取組・表現テーマ》

課題と解決策、新たな提案など、人々にアピールしたいことをチームで決めてください。海に関わる課題が基本ですが、例えば山・川など「海に繋がる課題」でも結構です。

「海の課題」と聞くと、多くの人がまず「海洋プラスチック問題（海ゴミ）」を連想しますが、海の課題はそれだけではありません。自由な課題設定と、発見やアイデアを盛り込んだ作品や活動を大歓迎します！ぜひ地元の海に出かけて、見て聞いて調べてみてください。

▼参考）以下、チームでの話し合いの参考にしてもらおうよう、課題例を列記します。

もちろん、以下の例にあてはまらないテーマ設定も歓迎します。

できるだけ具体的にテーマを設定してください。

例）たとえば… 以下あくまで一例です！

文化に関わるもの：海と暮らす文化や伝統・仕事・遊びの保護・継承 など

食に関わるもの：地元の水産業の変化・発展、独自の食文化の継承 など

環境に関わるもの：海の砂漠化防止、里海活動、海洋プラスチック問題 など

観光に関わるもの：エコツーリズム開発など観光促進、若者の海離れ対策 など

過疎化に関わるもの：移住者の誘致、地域の高齢化、水産業の担い手不足 など

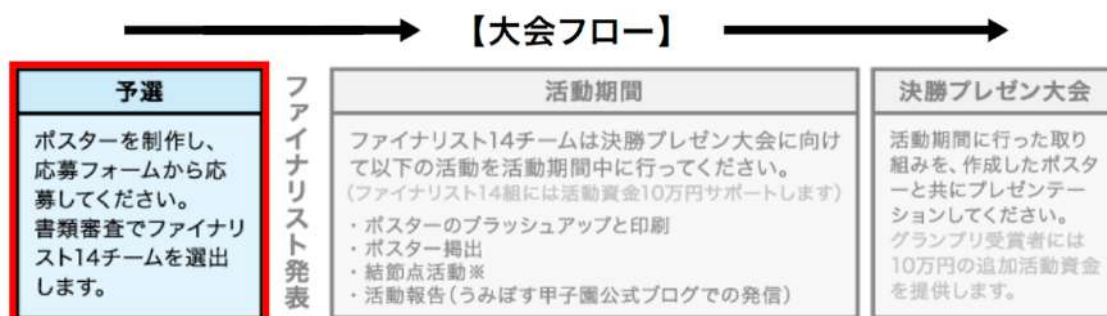
その他、地元独自の課題、海に関わる資源の問題など

予選に応募しよう！

《応募までの活動内容 2023年6月18日（日）締切》

まずはチームを編成し、テーマを設定して表現を考え、ポスターを制作。

応募フォームから応募してください。書類審査＝予選となります。



▼応募フォーム記入項目概要

①～⑤は審査基準（後述）との引き当て項目です。参考にしてください。

実際のフォームの記入欄では設問をいくつかに分けて記入をお願いします。

記入サンプルも参照してください。

①発想・企画するチカラ（課題解決を訴求するアイデア）

（1）テーマを決めた理由、解決したい内容について詳しく記載をお願いします。

②表現するチカラ（ポスター制作）

（2）ポスター制作で工夫した点はどこですか？（ビジュアル、コピーほか）

③発信するチカラ（公式ブログでの報告、ポスター掲出場所開拓活動、その他広報活動）

（3）ポスター掲出場所の開拓ほか、広報活動の計画を具体的に教えてください。

④協力するチカラ（周囲を巻き込んだ活動）※

（4）協力者を作り、一緒に行動してもらえる人を増やすよう、どんな活動をしていきたいですか？

⑤想像を超えるチカラ（驚きや発見の共有）

（5）見る人や関わる人が驚くような表現や活動案など、独自の視点や計画を教えてください。

※記述内容は審査の対象となります。

※周囲を巻きこんだ活動とは、ポスターに表現するテーマ・課題解決のための具体的な活動を指します。

別のところで結節点活動と記述しているものと同じ意味です。

《6つの審査基準》 ※下記は予選、決勝ともに評価基準となります。

「うみぼす甲子園 2023」は、制作物やプレゼンの善し悪しだけでなく、活動のユニークさやプロセス、チームの熱意も総合的に評価していきたいと考えています。動機やプロセス、ストーリーやエピソードも教えてください。

応募・予選時はエントリーシートの内容全体を「訴求するチカラ」として評価します。

決勝プレゼン大会では、活動の実績も含めて、合計5分間でプレゼンテーションしてもらい、審査員からの質問に回答してもらいます。

① 発想・企画するチカラ（課題解決を訴求するアイデア）

- ・ テーマの独自性がある
- ・ 見る人を動かすアイデアがある

② 表現するチカラ（ポスター等制作物）

- ・ ビジュアルやコピーが良い
- ・ 全体の完成度が高い

③ 発信するチカラ（公式ブログでの報告、ポスター掲出活動、その他広報活動）

- ・ 広報計画に独自性がある
- ・ 広報計画が効果的である

④ 協力するチカラ（各種活動）

- ・ 周囲を巻きこんでいく力がある
- ・ 活動に継続性がある

⑤ 想像を超えるチカラ（驚きや発見の共有）

- ・ 独創性や新規性がある
- ・ 人を惹きつける力がある

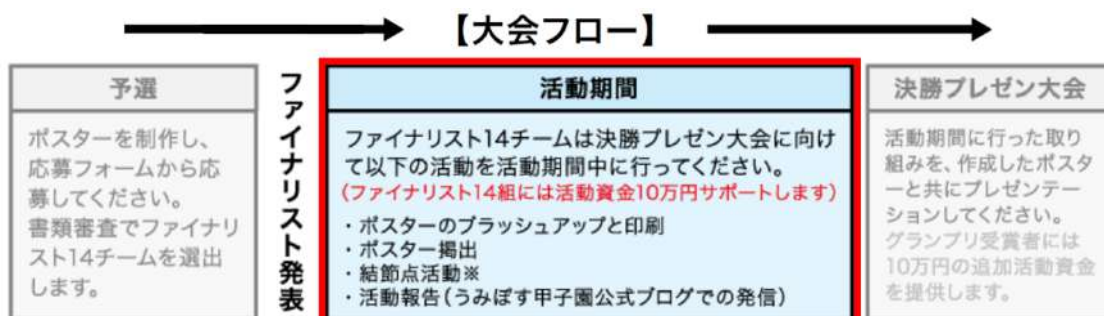
⑥ 訴求するチカラ（プレゼンテーション）

- ・ 時間内に魅力を伝え切れた
- ・ 共鳴共感を得られた

予選を通過したら、活動をしよう！

《ファイナリスト 14 チームの決勝プレゼン大会までの活動

活動期間 2023年7月1日(土)～10月31日(火)》



活動開始に先だち、事務局スタッフとの顔合わせ面談(リモート)を行います。

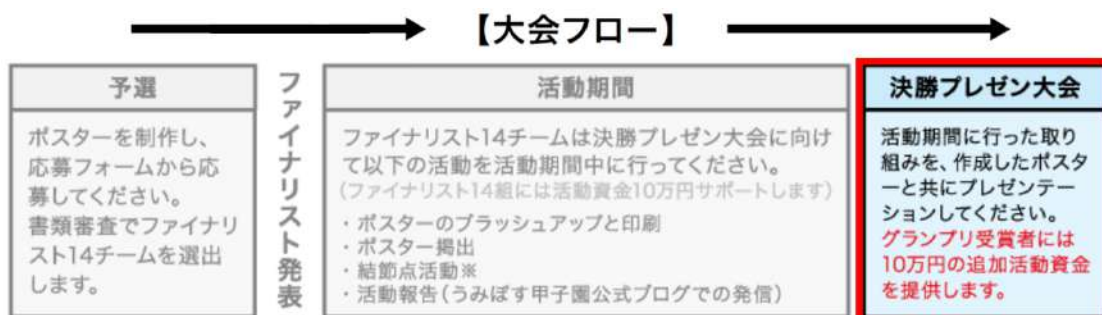
また必要に応じて数回のリモートでのサポートを行います。時期・回数等はチームごとに異なる場合があります。

- ファイナリスト 14 チーム(予選通過): 活動資金 10 万円とサポートを提供します。
- 結節点活動(活動)とは、ポスターに表現するテーマ・課題解決のための「海と人、人と人をつなぐ」具体的な活動を指します。
- 決勝プレゼン大会参加にあたり、1 チーム最大 15 万円までの旅費・宿泊費をサポートします。

いよいよ決勝プレゼン大会！

ポスターや活動、すべての成果をプレゼンしよう！

《ファイナリスト 14 チームによる決勝プレゼン大会 2023年11月4日・5日》
全チームが集結し、各チームがプレゼンテーションを行います。



決勝プレゼン大会：2023年11月4日（土）・5日（日）（開催地：東京都内）

※4日：リハーサル&交流会 5日：決勝プレゼン大会本番

※会場は6月中旬に決定予定

- グランプリ**：決勝プレゼン大会で選出。追加活動資金 10 万円とサポートを提供します。
※その他、デザイン賞、プレゼンテーション賞、審査員賞など各賞の表彰を予定。
- グランプリチーム**をはじめ活発に活動するチームは、追跡取材を行い、冊子やネットでの発信を行う予定です。

■生成 AI 利用の不承認

うみぼす甲子園では、画像生成 AI を使用した作品は、審査対象外とします。これは AI の運用に社会のルールや検証方法が追いついておらず、不適切な引用（著作権の侵害ほか）などの懸念が払拭できないためです。入賞者には、AI を使用していないことを明示していただくために、出力データだけでなく画像制作したソフトでの編集可能な状態のデータ、あるいはそれに準じる元素材の提示をお願いします。

★会場、審査員等、詳細は決定次第公式サイトで発表していきます。

★ご質問がありましたら以下にメールでお寄せください。

一般社団法人海洋連盟 うみぼす事務局 うみぼす甲子園係
umipos@ocean-alliance.org

メール件名に必ず「うみぼす甲子園」と入れてください。

担当／田中、堀内、瀬尾

〒104-0045 東京都中央区築地 4-10-6 三輝ビル 403

TEL：03-6281-5033（受付時間：平日 10:00～17:00）

※リモート勤務を推進しているため電話がつながりにくい場合があります。

上記のメールにてお問い合わせください。

**「うみぼす甲子園 2023 オンライン説明会」配信済みの回は
以下からご覧いただけます。**

YouTubeの「うみぼす公式チャンネル」

<https://youtube.com/@umipos>

オンライン説明会は今後も開催します。開催予定は公式サイトでお知らせします。